



Monthly Times

和歌山県立
串本古座高等学校串本校舎
平成 26年(2014年)11月号

消しゴムアート・馬淵佑佳さん作品

同生徒作品

2014文化祭 Make a world ～世界がここに～

【講評:今回は、教頭の講評を掲載することで文化祭のまとめとします。】
今年の文化祭は、天候にも恵まれ、多くの来場者の皆さんを迎え、開催することが出来ました。文化祭のテーマは「Make a World ～世界がここに～」でしたが、皆さんはこの2日間でいったいどんな世界を作りあげ、どんな文化を体験、創造したのでしょうか？

初日の午前中は吹奏楽部のオープニングに始まり、音楽部の力のこもった演奏、有志のみんなの迫力あるヒットスタジオ (Part 1) がありました。また、午後からはロックコンサートがあり、若さあふれる演奏で体育館が盛り上がりました。2日目にはヒットスタジオ (Part 2)、1A「ストップ」、1C「合唱」、2C「手影絵」、3B「自主制作映画」の発表があり、クラスがまとまった形での成果を鑑賞することが出来、頼もしく思いました。スポーツ実践選抜生による「きいちゃんダンス」は澁刺とした動きで見物者を楽しませてくれました。2日間を通して展示・アトラクションが行われ、正門前に入場門を皮切りに楽しい仕掛けが工夫されていました。今年は、モザイクアートが2つ校舎を飾り、来場者の目を楽かせてくれました。第2体育館での数々の作品もパワーを感じさせてくれるものでした。バザーでは、たこ焼き、フレンチトースト、カステラーヤ、ドーナツ、フランクフルト、キムチ鍋、豚汁、うどん、イカ焼きそば、ココス、パスタ、クッキー、ワッフル、オムライス等々、彩り豊かな世界を、「食」という文化をテーマに展開してくれました。家庭部、茶道部、歴史文芸部、生徒会のみんなも趣向を凝らした形での文化の創造に奮戦してくれていました。書道部の書道ガールズのパフォーマンスも毎年の楽しみです。みんなが協力し合っただけの作品は迫力満点でした。

私が2日間、会場を回る中で一番うれしかったことは、「みんなが繋(つな)がりあっている」ということです。文化祭のテーマにあるように世界がここに繋がったんだな、と思いました。皆さんのこれまでの努力に感謝して講評を終えたいと思います。本当にお疲れ様、ありがとう。



書道ガールズ (書道部)

各部門の最優秀賞は、以下の通りです。

- ◆トランプアート(絵画):3D『妖怪ウォッチ』から
- ◆ステージ発表(映像):3B『あの有名なSF』…スターウォーズから
- ◆展示・アトラクション:2B『クローズ ZERO』…モザイクアート
- ◆ヒットスタジオ(有志):少女時代『I Got A Boy』
- ◆文化祭テーマ:2C『Make a world ～世界がここに～』



トランプアート (3D)



モザイクアート (2B)



オープニング (吹奏楽部)



合唱「全力少年」 (1C)



ロックコンサート Stimulant の演奏



入場門 (1B)



たこ焼き (1A)

12月行事

- 1 (月) = 交通指導1・2年進学模試・看護模試
- 3 (水) ~ 9 (火) = 期末考査 (9日 = 列車指導)
- 10 (水) ~ 12 (金) = 1,2年進路希望調査
- 11 (木) = 人権LHR (デートDVについて)
- 13 (土) = 3年進学模試 (センタープレテスト)
- 15 (月) = 交通指導
- 18 (木) ~ 19 (金) = 三者面談 (午後)
- 22 (月) = 冬季球技大会
- 24 (水) = 終業式・大掃除
- 25 (木) ~ 1/7 (水) = 冬季進学補習
- ※3月期始業式 = 1/8 (木)・定刻



フランクコウノ (2 A)



モザイクアート (2 D)



めっさうまいココス (3 B)



進撃のポテト、ドーナツ (1 D)



Buono!! (3C)

若手教職員を育てる、ということで、今回から3人の先生のレポートがスタートします。第1回目は初任の数学科・玉置洋先生の原稿です。来年度の「紀の国わかやま国体・わかやま大会」に向け、長崎国体に視察に行った時のレポートです。

「紀の国わかやま国体に向けて」

10月18日(土) ~ 22日(水)の期間に、長崎県諫早市で行われた第69回国民体育大会(長崎がんばらんば国体)陸上競技会に審判・視察員として参加してきました。



長崎国体・運営の様子

長崎県までは電車を乗り継ぎ、串本から片道8時間超の長旅でした。私は大会5日間、記録関係の仕事を視察してきましたのですが、日本代表の選手や和歌山県代表の選手の競技を間近で見ることができ、すごく感動しました。またそれ以上に、長崎県の選手が出てくると、観戦に来ていた地元の方々や小・中・高の児童生徒から歓声が上がリ、一生懸命応援していた光景が強く印象に残っています。近くで行われる競技にはぜひ観に行ってください、感動を味わってほしいと思います。皆さんも来年補助員等で国体に携わることがあると思います。来年度、この和歌山で行われる国体を、感動を呼ぶ素晴らしい大会として成功させるためにも、協力して支えていきましょう。

〈文化祭記録集〉



こっちこんかい耕一郎 (3A)



手影絵 (2 C)



ヒットスタジオ (有志) : 少女時代『I Got A Boy』